

〈はじめに〉

ロシアによるウクライナ侵攻が止まりません。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ憲章の精神を思い返し、一日も早い戦争の集結と戦後の復興を目指そう。

授業での「ノート」の取り方、用い方

—学力を「定着」させるために、授業中の「ノート」を活用しよう。

そして、Learning To Learn(学び方を学ぶ)能力を身に着けよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：学力を身に着け、学校成績を向上させ、偏差値を上げるために、「絶対」必要なことは何ですか。

A：(林明夫：以下省略)学校や開倫塾の授業、自学自習などで一度「うんなるほど」と十分に「理解」した内容を「身に着ける」こと、つまり「定着」させることです。

英語の「Learn(ラーン)」や日本語の「学ぶ」には、一度「うんなるほど」と十分に「理解」した内容を「身に着ける」、「定着」させるという意味があります。

「成績」や「偏差値」を上げる上で大切なことは、英語の「Learn(ラーン)」や日本語の「学ぶ」、つまり、一度「うんなるほど」と十分に「理解」したことを「身に着ける」、「定着」させることです。

Q：では一体、何をどのように身に着け、定着させたらよいのですか。何をどのように学んだらよいのですか。「Learn(ラーン)」したらよいのですか。

A：学校や開倫塾の授業で使っている「テキスト」と、授業中に取った「ノート」を、できるだけいいいに、ていねいに、また、正確に「身に着ける」、「定着」させることを私は強くお勧めします。

「テキスト」や「ノート」は、きちんと「身に着け」、「定着」させるものなので、大切に、大切にしてくださいね。

Q：「テキスト」だけでなく、「ノート」も大切なのですね。

A：「ノート」はとても大切です。授業中は、先生の授業で大切と思われることを一語残らず、腕が痛くなるくらい、ひたすら「ノート」に取り続けることを私はお勧めします。

学校や開倫塾の授業の大半は、「テキスト」つまり「教科書」に沿って行われます。そこで、前回までの授業内容や今回の授業内容を「テキスト」をよく読んで頭に入れておくと、「ノート」も取りやすくなると思います。そして、「テキスト」をよく見ながら、先生の授業で大切と思わ

れることを一語残らずどんどんノートし続けることです。これは一つの大切な能力で、社会に出てからとても役に立ちます。

Q : 「ノート」を取るときに、気をつけたほうがよいことは何ですか。

A : できれば、あとで「身に着け」やすいように、「定着」しやすいように、「ノート」をし続けることです。

先生が黒板に書いた(板書した)ことも、あとで「学び」しやすいように自分で工夫して「ノート」してくださいね。

「ノート」は何のために取るかといえば、授業が終わったあとで、「ノート」を用いて「身に着ける」、「定着」させるためです。

せっかく取ったノートも、授業後に「身に着け」、「定着」させるために用いなければ「もったいない」ですから、「ノート」を十分に用いて「学ぶ」「Learn(ラーン)」することをお勧めします。

Q : 「ノート整理」とは何ですか。

A : よい質問ですね。授業が終わったあとに、「学び」やすい、つまり「身に着け」「定着」しやすいようにすることです。例えば、大切な語句にマーカーや色えんぴつで印をつけたり、必要なことを書き加えること。項目に、1. (1)、①②③などと図のよう

- 1.
- (1)
- ①
- ②
- ③

うに番号をつけることも大切です。

テキストの対応するページも入れておくと便利です。

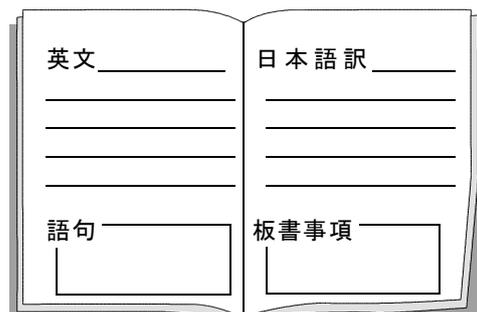
Q : 例えば、英語の「ノート」はどのように取ったらよいのですか。

A : できれば、ノートは少し大きめのA版のノートを使う。その少し大きめのA版のノートにその日の授業で勉強する英文は、予(あらかじめ)めノートに書き写しておくことをお勧めします。英文を書き写すときは、2行から3行おきに書き写しておくこと、授業中に先生が教えてくださった内容をそこにメモすることができますよ。

ノートは、イラストのように見開きで用いて、ノートの左ページに英文を書き写し、語句の意味を調べたときは左ページの下にメモをしておくこと。右ページに自分で訳した日本語訳を2~3行おきに書き、その下に先生が黒板に書いた(板書した)ことをメモしておくこと。

赤のボールペンで、授業中に先生が訳したものをメモすること。

英語ノートの例



※英文を「書き写す」のが大変なら、教科書をコンビニで拡大コピーして、ノートに貼りつけること。(学校や開倫塾のコピー機は使用しないでください。コピーは、お金を払ってコンビニでしましょう。150 ~ 200 %に「拡大コピー」をしたほうが、「行間」にメモがしやすいと思います。)

※このときもA版のノートはとても便利です。

Q : やはり「予習」は必要なのですね。

A : テキストの本文をA版のノートに書き写し、語句の意味調べをし、自分で日本語に訳すような本格的な予習はできなくても、コンビニに行き、テキストの本文を大きく拡大コピーしてノートに貼りつけるような「授業準備」は、それほど難しくはないと思います。月1回、1時間もかけないでできますので、ぜひ実行してくださいね。数学も、ノートにテキストの問題を解いてから授業に臨むことをお勧めします。

Q : 最後に一言どうぞ。

A : 「テキスト」や「ノート」は、授業後にもう一度ゆっくり読み返し、少しずつでもよいですから、大切なところから「身に着け」、「定着」させましょうね。

「テキスト」や「ノート」を用いての「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」が、学力の「定着」には絶大な効果を発揮します。

その上で、入試問題を5年分以上行い、同じ問題をできれば4~5回すべてノートにやり直すと、「偏差値」は4~5確実に上がります。

「ノート」の取り方、用い方を工夫しましょうね。